

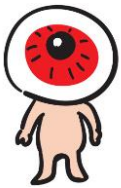


あかるく元気な子 だれにも親切な子 しっかり考える子 ことばを大切にする子

## 目玉おやじが見ているぞ！



○自分の中に、もう一人の自分がいることを知っていますか。『自分』には、「何かをする・している自分」と、それを「見ている自分」がいます。



目玉おやじ

この「目玉おやじ」は、自分の頭の中にいて、いつも自分のすることすべてを見えています。

「おまえ、あのときずるいことをしたよな。」

「おまえ、あのとき全力を出さなかったよな。手を抜いたよな。」

「おまえ、あのとき悪いと分かっていたのに、自分を止められなかったよな。」

他人には分からなくても、いつも厳しく、中立的な目で見ています。だから、ごまかせません。

○みなさんも、これまでにずるいことをしたりさぼったりしたことがあったでしょ。そのとき、「しめしめ、だれにも気付かれずにうまくいった。」と思ったことはありませんでしたか？ でも、そのことを知っていて覚えている人がいるのです。それがもう一人の自分、「目玉おやじ」なのです。だから、今でも、そのずるいことやさぼったりしたことは自分でも覚えているでしょ。



がんばったね！

もちろん、「目玉おやじ」が覚えているのは、悪いことばかりではありません。

自分が頑張ったことや、報われなかったけど一生懸命努力したことは、ちゃんと見てくれています。だから、自分の「目玉おやじ」に、「うん、おまえもなかなかよくやっている。」と認められることが大切なのです。「目玉おやじ」に尊敬されれば、「目玉おやじ」は大きな力を与えてくれます。「おまえには、それ

だけの力があるんだぞ。もっともっとがんばれるぞ。」って応援してくれるから、どんどんやる気にもなり、自分の力でできることもどんどん増えてきます。

でも、ずるいことだけをしてうまくやろうなんていうときには、大きな力でその邪魔をしにきます。「おまえなんか、成功する資格なし！ だって、あんなにひきょうだったじゃないか！」



○「目玉おやじ」は、いつも自分の頭の中にいて、自分のすることを見続けています。今のあなたは、「目玉おやじ」にほめられる生き方をしていますか？ 「目玉おやじ」に胸を張れる生き方をしていますか？

人に気付いてもらえなくても、人からほめられなくても、「目玉おやじ」だけは知ってくれていて大きな力を与えてくれる。そんな、「目玉おやじ」に尊敬してもらえるような生き方をしていきたいものですね。



かがやいてるね！

参考：平 光雄 著 「道徳の話」 致知出版社